

報告ダイジェスト

- ・虐待防止に関する自主勉強会(職員対象) (報告1)
- ・2/7(土)～8(日)えびす雪あそび合宿に行ってきました! (報告2)
- ・渋谷区障害者保健福祉計画 ④ (報告3)
- ・東日本復興支援「さくらプロジェクト3.11」 (報告4)
- ・働く人のストレスケアを学んできました (報告5)
- ・どうなった? NPO税制 ～与党税制改正大綱発表～ (報告6)
- ・第14回認定NPO法人ぱれっと定期総会開催のお知らせ (報告7)

報告1 虐待防止に関する自主勉強会(職員対象)

2月25日(水)えびす・ぱれっとホームにて、「虐待防止に関する自主勉強会」をぱれっと職員を対象に行ないました。『東京都障害者虐待防止・権利擁護研修』に参加した施設長の菅原から、虐待防止法に関する知識や虐待を防ぐために必要なことについて話を聞き、支援する側の意識についてワークショップを行ないました。

●支援者の意識を変える

虐待は身近な人ほど起きやすく、表面化しづらいものです。だからこそ、普段の支援について振り返ることが大切になります。「何を言おうとしているのか」「その言葉や行動の裏には何があるのか」利用者の声に耳を傾け、一方的に捉えるのではなく、アプローチを変えてみたり、意識を変える努力をする必要があります。その人の気持ちに寄り添い支援していくためには、支援者がプロとして、意識の在り方を問いかけることが大事であると思いました。

●関係を築き、チームで支え合う

普段の暮らしや就労を支援する中で、喜怒哀楽を感じる部分や感じ方は、支援

者一人ひとり異なります。支援者とはいえ、状況によって憤りを感じる場面に出くわすかもしれません。その時上手に切り返したり、憤りの感情をコントロールできるよう意識することが必要です。また、一人で抱え込まず、客観的に意見を言ってくれる人が身近にいと、対応は違ってきます。普段から周りのアドバイスを受け入れているか、相談できているか、信頼関係を築くことが大切になります。お互いを知り、違いを認め合う関係作りをしていきたいと強く感じました。

●勉強会を通して…

「相手のことを理解、知ることを意識しているか。今一度自分を見つめ直し、広い視野を持ち支援を必要としている人に接して行こうと感じた」「ワークショップや、職員同士のコミュニケーションを通じて、素の部分を知ることができた」等の感想が終了後にあがりました。

短い時間ではありましたが、それぞれの持ち場を離れ、自分たちの支援について振り返り、今回の“気づき”を大事にしたいと思える勉強会になりました。

(えびす・ぱれっとホーム職員 佐々木志保)

報告② えびす雪あそび合宿に行ってきました!

2月7日(土)～2月8日(日)にかけて、総勢63名で長野県白樺高原へえびす雪あそび合宿に行ってきました。去年は、あいにくの天候でプログラムの一部を中止せざるをえませんでした。しかし今年は二日間ともに天気に恵まれ、予定していたプログラムをすべて行なうことができ、楽しい二日間となりました。

●長野に向けて出発!

朝7時半の集合でしたが、誰一人遅れることなく恵比寿駅に集合し、無事時間通りに出発しました。着くまでの間バスレクを楽しく行ないました。ガイドさんのお話もとても面白く、みんなで楽しくにぎやかに過ごし、あっという間に目的地に到着しました。

●到着!一日目昼プログラム

到着後、各班でお昼ご飯を食べた後、さっそく一日目プログラムを開始!

○クロスカントリーコース

クロスカントリーは、スキー板を履いて平らな雪道を駆け抜けるスポーツです。この日はよく晴れて、クロスカントリーにもってこいの天気! みんなで気持ちよく滑り、大満足でした。



【クロスカントリーで林の中をスイスイ!】

○雪アートコース

宿の外の広場で雪だるまやかまくらを作りました。絵具で色を付けて、それぞれ個性あふれる作品ができました。

○ソリコース

宿の近くのスキー場で行ないました。ソリを持って坂を上り何度も何度も滑って楽しんでいました。最初は慣れなかった参加者も、何度も滑るうちにどんどん上達していきました。



【ソリコースの様子】

○まったり室内コース

雪の中でのプログラムだけではなく、参加者とおしゃべりも合宿の楽しみの一つです。このコースでは温かい部屋の中でお菓子を食べてまったりしました。たくさんお話しして仲間との親睦が深まりました。

●夜プログラム、二次会

夕食を食べた後、お楽しみの夜プログラムです! 今年の夜プログラムでは、7つの班に分かれて得点を競い合いました。○×ゲームやチーム代表者によるバトル大会など、どのゲームも大変面白く、笑いと声援の絶えない白熱した時間に

なりました。二次会ではたくさん語りあい、参加者同士の絆がより一層深まる機会になりました。日中のプログラムも楽しかったけれど、夜も充実した時間を送ることが出来ました。

●早朝散歩

二日目最初のプログラムは早朝散歩から始まりました。朝6時半にも関わらず、20人ほど集まり女神湖に向けて出発！雪の積もる中、ゆっくりのんびり、雪景色を堪能しました。

●二日目プログラム

二日目プログラムでは宿の外で宝探しをしました。少々雪がちらついていましたが、みんな寒さなんてお構いなし！埋もれている宝を手に入れるために必死に雪を掘り、見事お宝をゲットしていました。

プログラムが終わった後は、おぎのやにて、すき焼き定食を食べました。みんなで一緒に食べるご飯は格段においしかったです！昼食後は残った時間でそれぞれ家族やお友達へのお土産を買ったり、アイスを食べたりと、のんびり自由時間を過ごしました。

●東京へ・・・

帰りのバスでは毎年恒例のカラオケ大会！一人ひとり素敵な歌声を披露してくれ、バス車内は終始大盛り上がりでした！みんな良い笑顔をしていました。バスは予定より早く東京に到着し、お別れの挨拶。これにて今年度のえびす雪あそび合宿は無事終了しました。

●えびす雪あそび合宿を終えて

今回、初めての宿泊行事で初めての実行委員長を務めさせていただきました。早い段階から綿密に計画をたててきてはいたものの、やはり不安は大きかったです。しかしながら、頼もしく、心強い実行委員、そして参加者皆さんの温かいサポートのおかげで、楽しい合宿当日にすることが出来ました。心配していた天気もなんとか持ちこたえ大きな事故、けがもなく無事に終わられほっとしています。なにより、参加して下さった皆さんが楽しかったと言ってくれて、うれしい限りです。

実行委員長という貴重な体験をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。この合宿は私にとって大変実り多く意義深いものとなりました。ここで得た経験、知識、出会いはかけがえのないものです。今回の反省点を踏まえ、次の機会に生かしたいと思います。

最後に、多くの皆様より第33回えびす雪あそび合宿を開催するにあたりご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございました。紙面をお借りし、無事終了しましたことをここにご報告いたします。

(第33回えびす雪あそび合宿実行委員長 神岡初希)



【盛り上がった夜プロ！】

報告3 渋谷区障害者保健福祉計画 ④

2月4日、第7回渋谷区自立支援協議会福祉計画部会で、渋谷区の計画素案に対するパブリックコメントの結果概要が公表されました。65頁に渡る福祉計画の基本的方向性を示した内容を全て読み込むにはかなりの労力が要ります。31名から114件の意見が寄せられました。前回の福祉計画への意見数と比較すると、かなりの反響だったようです。

今回、福祉計画部会としては最終となった会議ですが、区長に対し答申される意見書が福祉計画に反映され、今後具体化される中で、どのように評価されるのか、いわゆるPDCAサイクルの機能について意見交換されました。

●PDCAサイクルとは

PDCAサイクルは、事業活動を行なう上での管理方法として、広くビジネス分野で用いられます。Plan・Do・Check・Act(計画・実行・評価・改善)

今回がこの福祉計画策定段階であるPlanになります。今後計画が実行に移され実施状況や実態に即した形で機能しているか評価を受けます。ここで押さえておかなければならない事は、どこが管理し誰が評価するかです。昨年までの福祉計画は数値目標が主でした。結果的にどれだけの数値目標が達成されたか、年度単位で評価されます。しかし、ここでの評価には、サービスの受け手側の満足度や意見は反映されません。「障がいのある人がその人らしく暮らす共生社会を実現させること」、今回福祉計画の理念として共生社会の実現をうたっていますが、障がいのある人の暮らしには

様々なものがあります。それぞれのライフスタイルにおいて、必要な福祉サービスや支援が受けられているか、計画実行の過程において、受け手側からの率直な意見が求められます。それらをフィードバックすることにより実施計画は中間的な見直しと改善がなされるのです。

●今後の福祉計画部会の役割

福祉計画部会員としての任期はあと1年です。「生活する・住む・健康を保つ・育つ・働く・理解し合う」この6つのカテゴリにおいて立てられた施策に対し、それぞれの専門性を持った部会員や関係者がオンブズマン的にモニタリング機能を持ちながら計画実行の経過を適正に評価していくのが今後の課題です。

こうした実態把握を中心に担っていく責任は自立支援協議会にあります。計画推進に当たり、直接行政と連携を取りながらそれぞれの部会と調整を図っていく必要があります。必要に応じて、障がい当事者や父母、施設スタッフなど、多面的な見方で意見交換を行ない、実態の見える形での中間評価が行なわれることが期待されます。

区民からのサービスの質や要望或いは苦情など、生の声を聴くことができるのは各相談支援機関です。サービス利用者や保護者からはより具体的な提言が得られます。計画実施状況が私たちの目に見える範囲でアセスメントできるように、システムづくりをしていく必要があります。

(認定NPO法人ばれっと理事長 相馬宏昭)

報告4 東日本復興支援「さくらプロジェクト3.11」

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」から4年。私たちはぱれっと関係者からお預かりした支援金を寄付させて頂いた団体のその後の活動を調べました。そして検討の結果、今回支援金を「さくらプロジェクト3.11」が募集している「桜守り」に再度寄付させて頂くことになりました。代表は、ぱれっとにもご支援いただいている「京葉アドバンス物流株式会社」の代表取締役小宮泰彦氏。この事業は震災で桜の木を失った地域に全国から寄付を募って植樹を続けているプロジェクトです。小宮さんは「震災直後は物資等を現地に届けることからスタート、震災同年7月に一般社団法人さくらプロジェクト3.11を立ち上げてから早いもので3年半が過ぎました。福島・宮城・岩手に昨年末で3,400本ほどの植樹を終え、今春も500本ほどの植樹を行ないます。しかし現地では根付きが悪く枯れてしまったり、鹿や猪、兎など動物の被害も少なくなく、今後はこれまで植えた苗木の『桜守り』に力を入れて参りたいと考えております。被災地と被災地外を繋ぎ、被災地に桜の名所を作りそこに人が集い経済効果が生まれることがこのプロジェクトの目的です。これからも引き続きこの活動を頑張って参ります。」と話してくださいました。『桜守り』支援は一口3,000円から。詳しくは公式ホームページで。

さくらプロジェクト3.11公式サイト <http://www.sakura-p.org/index.html>

(認定NPO法人ぱれっと 事務局長 南山達郎)

報告5 働く人のストレスケアを学んできました

2月13日(金)、渋谷区作業所連絡会が開催した職員研修会におかし屋ぱれっとと事務局より5名の職員が参加しました。今回は「職員だってこころのケアを」というテーマで国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の三宅美智さんにお話しいただきました。ストレスの感じ方や表れ方のチェックを交えながら、それには個人差があることを知った上で、自分を認め相手も認める主張の方法(アサーティブコミュニケーション)がストレスを生み出しにくい職場環境を作ると学びました。他にも「考え方のくせ」に気付くこと等、三宅さんのお話の中にはストレスとうまく付き合っていくためのヒントが満載で、参加者からはたくさんの質疑が飛び交っていました。

仕事に追われていると心の中はついつい見過ごしてしまうもの。今回の研修は自分のことはもちろん身近な人の心の健康について考える機会となりました。紹介のあった下記ホームページではストレス状況のセルフチェックが出来ます。皆さんも少し立ち止まって心に向き合ってみてはいかがでしょうか。

【厚生労働省 こころの耳】<http://kokoro.mhlw.go.jp/>

(おかし屋ぱれっと/工房ぱれっとと職員 玉井七恵)



報告6 どうなった？NPO 税制～与党税制改正大綱発表～

昨年お伝えした「認定NPO法人制度があぶない！」の続報です。12月、総選挙などもあって落ち着いた政治情勢の中、年末ぎりぎりの30日になってようやく、新年度に向けての骨子となる「与党税制改正大綱」が発表されました。振り返ってみると、昨年の4月14日、法人税減税の反動として、政府内で認定NPO法人の最大のメリットである税制優遇に関して、①ほとんどの個人にとってメリットのある「寄付金の税額控除」②ほとんどの企業にとってメリットの大きい「寄付金の損金算入限度枠」③これからのNPO運営に大変大きな意味を持つ「みなし寄付金制度」の3つについて見直しの議論が起きました。以降、「シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」を中心に、多くのNPOが署名活動や超党派のNPO議連への働きかけに参加、何としてもこの「改悪」を阻止すべく運動を続けてきました。結果、冒頭の「与党税制改正大綱」には、新年度を迎えるにあたり、これらの項目すべてについて「引き続き検討する」という言い方の先送りという結論が盛り込まれ、ひとまず回避できることとなりました。政府にとってもNPO分野の発展を阻害することは本意ではないはずですが、今後もこうした動きを注視しつつ、私たち自らも情報公開や法律の順守を徹底していく必要があります。

(事務局長 南山達郎)

報告7 第14回認定NPO法人ぱれっと定期総会開催のお知らせ

- 日時 : 2015年5月23日(土) 午後1:00～4:00
- 場所 : 地域交流センター恵比寿 地下1階コミュニティホール
渋谷区恵比寿西2-8-1
- 交通 : JR・東京メトロ日比谷線 恵比寿駅徒歩5分
ハチ公バス 恵比寿・代官山循環
夕やけこやけルート「13、25恵比寿区民施設」下車すぐ

《ぱれっと会員の皆様へ》4月末頃に「ぱれっと総会資料」「総会出欠はがき」「会費納入のお願い」をご自宅へ郵送致します。お手元に届きましたら、内容を御確認下さい。なお、総会にご出席の皆様は、送付した総会資料を当日会場へお持ちください。

～平成26年度第3四半期理事会が開催されました～

1月17日(土)、地域交流センター恵比寿にて、平成26年度第3四半期(10～12月)の理事会が開催されました。理事総数13名のうち、出席理事9名、委任状4名で成立、議事を進行しました。次回は平成27年4月18日(土)の予定です。

事務局長 南山達郎